

## マレーシア 活動記録

記録日：平成 28 年 3 月 10 日

記録者：水村翔

### I. 活動時間

- 7:10 ロビー集合
- 7:10～7:45 モノレール・徒歩にて移動
- 7:45～8:15 UKM にて待機
- 8:15～8:30 UKM 別校舎へバスにて移動
- 8:30～12:00 UKM 別校舎にて授業（呼吸器の評価・OT 紹介ビデオ・盲目体験・写真撮影）
- 12:00～13:30 昼食（弁当）
- 13:30～17:00 UKM 別校舎にて授業（神経/電気系の先端機器の紹介・レクリエーション）
- 17:00～  
～21:00 放課後は LOT10 (in Bukit Bintang) にて夕食  
各自ホテルにて過ごす

### II. 活動内容



マレーシア短期留学も病院実習が終わり、残り日数が少なくなった今日。初めて UKM での授業がありました。基本的には講義を受け、その後実技へと移る形でプログラムが組まれていました。まず、呼吸器評価の講義ではマレーシアで用いられている呼吸器評価の 2 つの方法が紹介されました。その後、実際に検査機械の使用方法的説明と患者に対する口頭説明の手順を教わり、機械を用いて学生同士で評価体験をしました。

次は盲目体験でしたが、3つのグループに分かれ目隠しをした状態で UKM の学生に誘導してもらいながらコースを進みました。コースには UKM の学生によって工夫された装飾がされており、まるでジャングルのように感じながら廊下を歩きました。途中、サンドイッチを作るコーナーやフルーツを選ぶコーナー、マニキュアやリップクリームをするコーナーなどがあり、視覚障害における ADL や IADL の様子をより現実的に感じることができました。

UKM 側から弁当が配布され、昼食を取りました。より身近な話をする事ができ、良い交流の機会となりました。昼食後は、神経/電気系の機械についての紹介から始まりました。講師を招き、先端的な技術を学びました。また、説明を受けた後実際にその機械を使用させてもらいました。筋腹や神経に電気を流し、筋を収縮させる機械でしたが、非常にコンパクトに作られており利便性の高いものとなっていました。また、ワイヤレスで操作が可能となっており、リハビリに使用することができるとのことでした。拮抗筋を外部の電気刺激で収縮させ、主動作筋のトレーニングを行うという使用の仕方も可能であるらしく、大きな訓練設備が必要なく場所が固定されない状態での使用が可能とのことでした。

レクチャーの後は、UKM の学生による交流を深めるレクリエーションが行われました。5~6 人の小グループに分かれ、様々なアクティビティに参加しました。